

所得稅法中改正法律案外二十二件特別委員會議事速記録第十一號

大正十五年三月二十日(土曜日)午前十時
四十四分開會

○委員長(子爵前田利定君) 是ヨリ會議ヲ
開キマス、先日申上ダマシタ通りニ更ニ此
際懇談の會議ヲ致シマシテ、午後二正式
ノ討論決議ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、先
達テニ引續キマシテ御懇談ノ御進行ヲ願ヒ
マス、速記ハ一時中止ヲ致シマス

午前十一時五十八分休憩

午後二時十六分開會

○委員長(子爵前田利定君) 是ヨリ會議ヲ
開キマス、討論ニ移リマス前ニ御質疑ガゴ
ザイマスナラバ、此際願ヒマス

○山田惠一君 私チヨット御尋ネ申シタイ
ト存ジマス、是ハ醬油稅ノ廢止ニ伴フコト
デアリマスガ、醬油ナルモノハ關東ニ於キ
マシテハ千葉、銚子、關西ニ於キマシテハ
兵庫、香川ガ最も醬油釀造ノ盛ナル所ト心
得マス、而シテ今般醬油稅ヲ御廢止ニナル
ニ付テハ、此御廢止後ニ付テ政府ハドウ云
フヤウニ御取締ニナルカ、或ハ府縣ト致シ
マシテハ相當重要ナ物產ト致シテ獎勵イタ
シテ居ルノデアリマスガ、此廢止後ニ於
テ相當民間ニモ釀造業者ガ澤山出來ルト思
ヒマス、從テ粗製濫造ニ對スル取締ハドウ
云フヤウニナサイマスカ、又是マデアル釀
造組合ニ付テハドウ云フ風ナ方法ヲ採リマ
スカ、其邊ノコトヲ承リタイ

○政府委員(黑田英雄君) 醬油稅則ガ廢止
サレマシテ醬油ガ課稅サレナイコトニ相成
リマシタ場合ニ於キマシテハ、勿論取締ト申

シマシテモ徵稅上ノ取締ガ必要デナクナル
コトハ申上タル迄モナイコトデアリマシテ
是ハ必要ガナイノデアリマスガ、唯今御述
ベニナリマシタノハ、其爲ニ粗製濫造ノモ
ノガ生ジテ來ル、稅金ガカラナイ爲ニ之
ヲ釀造スル者モ出來テ來テ、粗惡品ヲ拵ヘ
ルヤウナコトガ出來ヤシナイカ、ソレヲ如
何ニ取締ルカト云フコトデアリマスガ、之
ニ付テハ大體今日醬油ノ釀造業ト云フモノ
ハ相當發達ヲシテ居ルノデアリマシ
テ、自然商品ト致シマシテ國民ノ嗜好モ段
段向上シテ參ッテ居ルノデアリマスカラ、
自然此品質ノ良イモノガ消費者ニ迎ヘラレ
ルト云フ結果ニ相成ルノデアリマシテ、或
ハ稅金ガ無クナリマシタ爲ニ、一時ハ自分
デ造ルト云フ風ナ者モ多少出來テ參ル傾向
モアラウカト思ヒマスケレドモ、併シ今日
ノ狀況カラ見マスレバ、自然二分業ニナリ
マシテ、自家用ヲ自ラ造ルト云フコトモ自
然少ナクナッテ、サウシテ品質ノ良イ販賣
品ヲ輕便ニ買ヒ得ルト云フ風ナコトニ向
テ來ル自然ノ結果ト致シマシテ、矢張り品
質ノ良イ販賣品ト云フモノガ消費サレルヤ
ウニナッテ參ルノデアリマシテ、其結果粗
惡品ガ出來テ居ルト云フ憂ハ萬ナカラウ
ト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、唯家庭デ
作リマスモノニ付テハ、一時自分ノ家デ反
則ニナリマセスカラ作ッテ見ヤウト云フコ
トモアラウカト思ヒマスガ、ソレハホソノ
一時ノコトデアリマシテ、結局輕便ニ買ヘ
ル、良イモノヲ買ヘル、美味シイモノガ買
ヘルト云フコトニナレバ、自然サウ云フ風
ニ向ッテ來ルノガ社會ノ現狀デアラウト思

ヒマス、サウ云フ點ハ心配ハナカラウト考
テ居ル次第デアリマス
○山田惠一君 左様イタシマス、試驗場
ト云フヤウナモノハドウナリマスガ、モウ
一ツ申シマスガ、指導ノ如キハドウ云フヤ
ウナ風ニナリマスガ、其邊モ一ツ……
○政府委員(黑田英雄君) 少シ御答ガ足リ
ナカッタカト思ヒマスガ、此醬油釀造業ニ
對シマシテハ、今日ハ一方ニ徵稅ヲ致シマ
スルト同時ニ、一方ニ指導獎勵ヲ致シマ
スルノデアリマス、是ハ稅ガナクナッテ仕
舞ウト云フト、最早ヤ政府ハ指導獎勵ヲ捨
テ、仕舞ウカト申シマス上云フト、是ハ決シ
テサウ云フ考ヘハ有ッテ居ラヌノデアリマス、
現在ニ於キマシテモ、讓造試驗場ニ於キマシ
テ、酒ト醬油ト矢張り相關聯イタシマシタ
讓造物デアルノデアリマス、之ヲ研究ヲ一
箇所ニ於テ致シテ居リマスガ、是ハ矢張り
今日ノ所デハ、將來モ研究ヲシテ參リマシ
テ、其成績ハ廣ク當業者ニ周知セシメテ、
改良サセルヤウニ致シタイト云フ考ス有ッ
テ居ルノデアリマス、唯地方ニ於キマスル稅
務署ノ指導等ニ付キマシテハ、實ハ急ニ之
ヲスツカリ廢シテ仕舞ウ積リハアリマセス、
唯將來ト致シマシテハ、如何ニ之ヲシテ行
クカ、或ハ大藏省デヤルカ、或ハ商工省ノ
方デヤルヤウニ致シマスルカ、此點ニ付キ
マシテハ、目下協議ヲ致シテ居リマシテ、
マダ決定イタシマセヌガ、私ノ今日ノ考ニ
於キマシテハ、稅ヲナクナシタラ、モウ明
日カラハ知ラナイト云フ風ナ態度ハ取ラナ
イ積リデ居ルノデアリマス

トカモ知リマセヌガ、一寸伺ッテ置キマス、
我ガ政府ニ於テハ外國デ御募リニナリマシ
タ公債ニ總テノ公課ヲ附セナイト云フ始メ
カラノ約束デ發行サレテ居ル、其額ハドノ
位ニナリマスガ、ソレカラ其利子ハ内地ニ
於テ支拂ヒニナリマシタ其總額ハ分ッテ居
リマスレバ、ソレヲ御答ヲ煩ハシタイト思
ヒマス、ソレカラモウ一ツ營業ノ純益ト云
フモノヲ査定シマスルニ、必要ナ經費ト云
フモノハドレ……ヲ引クト云フコトハ細則
デ御決メニナリマスガ、或ハサウ云フコト
ハナシニ稅務署員ノ自由裁斷ニ御任セ
ニナルノデアリマスガ、ソレダケ……
○政府委員(黑田英雄君) 外國デ募リマシ
タ國債ニ付キマシテ、内地デモ利子ヲ支拂
ウト云フモノ、總額ハ一寸材料等モ有ッ
テ居リマセヌ、又ソレヲ内地ニ於テ過去ニ支
拂ッタル額ガドレ位ト云フコトモ實ハ調査ヲ
有ッテ居リマセヌノデ、一寸御答申上ダ
コトガ出來マセヌ、ソレカラ營業收益稅ノ
控除ノ經費ハ何カ命令デ以テ定メルカト云
フ御尋デゴザイマスガ、是ハ勿論取扱ト致
シマシテ、各稅務署ニ於テノ實行上ニ於キ
マシテハ亦統一ヲ致サナケレバナラヌノ
デアリマシテ、ソレハドウ云フモノヲ引ク
ドウ云フモノハ引カナイト云フコトニ付キ
マシテハ、一般ニ之ヲ細カキ定メ方ヲ致シ
タイト考ヘテ居リマスガ、併ナガラ外部ニ
發表シマスル施行規則等ニ付キマシテハ、
之ヲ定メルコトハ困難デアリマシテ、細カ
イ所マデハ營業態ノ如何ニ依リマシテモ、
色々經費ノ種類ガ違フノデアリマシテ、又
地方ニ依リマシテモ、此營業ノ狀況ガ違フ

ノデアリマスカラ、大體ニ其營業ノ收益ヲ舉グルニ必要トスル所ノ支出ヲ是ハ控除スル、唯家族ノ生活費ト云フ風ナモノハ是ハ經費ト見ルコトハ出來ナイト考ルノデアリマス、唯今ハ或ハ使用人ノ給料ト云フ風ナモノハ經費ト見ルト云フヤウナコトニ、大體ノコトハ定メテ居リマスルケレドモ、細カイモノニナリマス云フト、是ハ實行上ニナリマシテ、地方々々稅務署員ヲ集メマシテ其地方で統一ヲシテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、一般的ニ決メルコトハ困難デハアルマイカト云フ考ヲ有テ居リマス

○藤山雷太君 外國デ募集シタ公債ノ利子ヲ内地デ支拂ウト云フモノハ、始めカラ公債ヲ募ル時分ニ總テノ事柄ハ租稅ノ負擔ヲ受テサセナイト云フ約束ニナテ、始めカラ條件附テ外國デ御募リニナツタ公債ガアリマスガ、其額ハドレダケアルカト云フコトダケヲ御伺ヒシタイノデ、即チ外國デ御募リニナツタモノ

○政府委員(黑田英雄君) 募リマシタ總額ハ唯今取寄セテ居リマスカラ、直ダ申上ダマスガ、種類ニ付キマシテハ四分利附債券、公債、第三回英債公債、六分利附英債公債、是ダケノ三種類ニ相成テ居ルノデアリマス、是ハ外國デ募リマシテ稅ヲ掛ケナイト云フ約束ヲシ、而モ内地デ以テ支拂フコトモ出來ルモノハ、今申上ダマシタ三種類デアリマシテ、此全體ノ額ハ唯今取寄セマシテ申上ゲマス

○委員長(子爵前田利定君) 御質問モゴザイマセヌヤウデアリマスカラ、是ヨリ討議ニ入リタイト思ヒマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵前田利定君) 是ヨリ討議ニ移リマス、其順序ト致シマシテ御諮リ致シ

マスルガ、先達來皆様ノ御質疑ナリ、御意見ノ斷片ヲ伺テ居リマス云フト、稅制ニ關シマスル諸案全部ニ對シテ、之ヲ否決スルトカ云フ御論者モ在ラセラレナイヤウニ考ヘマスカラ、各法案ヲ所得稅法中改正法律案カラ順次一ツ一ツ問題ニ掛ケテ討議ヲ進行シタラドウカト思ヒマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵前田利定君) 御異議ゴザイマセヌケレバ、左様イタシマス、先ツ所得稅法中改正法律案、之ヲ議題ニ供シマス

○男爵阪谷芳郎君 本案ニ付キマシテハ、原案ヲ賛成イタシマス

○馬場鑛一君 私も所得稅法ニ付テハ大體ニ於テ賛成イタスモノデアリマスガ、唯所得稅法第十四條第一項第一號ノ所得ニ付テハ過日政府委員ノ御説明ニ依リマス云フト、大正十四年分ニ付テ、既ニ現行法ノ下ニ豫算額ニ基イテ課稅セラレテ居ルノデアリマス、然ルニ尙ホ大正十五年度ニ於テ十四年分ノ右所得ニ付テ課稅ヲ爲サルガ如キ御説明ガアツタノデアリマス、若シ果シテ然ルトスルナラバ是ハ所謂一度課稅セラレタルモノニ對スル二重課稅ト言ハナケレバナラヌ、若シ左様ナモノ、デアリマシテ、今回ノ改正ハ前年分ノ所得ニ付テ次年度ニ於テ之ヲ課スルト云フ主義ヲ採タ以上ハ、大正十四年分ニ付テハ豫算ニ基イテ既ニ課稅セラレテ居ルノデアリマスカラ、十五年度ニ於テ課稅スルト云フコトハ明ニ不當デアリマス、故ニ此點ニ付テ過日政府委員ノ御説明ヲ以テ一貫サレムトスルナラバ、我々ハ遺憾ナガラ之ニ對シテ修正ヲ加ヘナケレバナラヌデアリマス、併ナガラ斯様ナル二重課稅ヲ爲スト云フコトハ如何ニモ條理上ニ於テ都合デアリマスルガ故ニ、若シ政府ニ於テ斯ウ二重ニナルモノニ付テノ課

稅ヲ爲サスト云フコトノ十分ナル言明ヲセラレタナラバ、我々ハ暫ク此所得稅法ニ付テハ修正ヲ見合セヤウカト思フノデアリマスガ、之ニ對シテ政府ノ言明ヲ得マセヌケレバ、本案ニ付テハ直チニ全部ニ對シテ御贊同ヲ致シ兼ねル次第デアリマス、政府ノ御言明ヲ得タイ

○委員長(子爵前田利定君) 馬場君ニ御尋

イタシマスガ、大藏大臣ハ御病氣ノコトデアリマスガ、政府委員ハ此所ニ居ラレマスガ

○馬場鑛一君 大藏大臣ガ御缺席デアリマスレバ總理大臣ノ御言明ヲ得タイ

○委員長(子爵前田利定君) ソレデハ總理大臣ヲ御招キ致シマスカラ暫ク...唯今馬場君カラノ御申出デニ對シマスル國務大臣ノ御答辯ガアル等デアリマスルガ、其國務大臣ノ出席サレルマデノ間所得稅法中改正案ニ付テ他ニ御意見デゴザイマスナラバ此際水リタイト思ヒマス別ニ他ニ御意見ゴザイマセヌケレバ大臣ノ來ラレマスマデ其位置デ御休想ヲ願ヒマス

午後二時三十四分休憩

午後二時三十五分開會

○委員長(子爵前田利定君) ソレデハ會議ヲ開キマス、所得稅法中改正法律案ハ唯今ノ討議ノ程度ニ一時是ハ大臣ガ見エマスマデ後廻シニ致シマシテ、次ニ移リマス、大正九年法律第十二號中改正法律案、之ヲ問題ニ供シマス

○男爵阪谷芳郎君 是モ原案ヲ賛成イタシマス

○委員長(子爵前田利定君) 別ニ御意見アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵前田利定君) 然ラバ之ノ決

定ハ所得稅法中改正法律案ノ決議ヲ致シマス時ニ決定ヲ致スコトニ致シマス、次ニ地租條例中改正法律案並ニ明治三十七年法律第十二號中改正法律案、之ヲ束ネテ問題ニ供シマス

○男爵藤村義朗君 私も本案ニ對シテ修正ヲ加ヘタイト云フ意見ヲ持テ居リマス、ソレニ付キマシテハ少シ長クナリマスカラ暫ク御清聴ヲ煩シタイト思ヒマス、少々長クナリマシテ御差支ゴザイマセヌカ

○委員長(子爵前田利定君) 致方ゴザイマセヌ、宜シウゴザイマス

○男爵藤村義朗君 唯今申シマシタ通りニ、私ハ稅制整理案ノ中ノ地租條例改正法律案ニ對シマシテ修正ヲ加ヘタイト思フノデアリマス、即チ地租條例中改正法律案ノ衆議院ニ於テ修正ヲ加ヘマシタ部分ヲ全部政府ノ原案ニ復活セシメル、而シテ是ト關聯シテ居リマスル衆議院ノ提案ニ係ル、市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案ヲ否決シ、及ビ永小作權ニ關スル法律案ヲ否決シタイト思フノデアリマス、此修正ヲ提案イタシマシテ皆様ノ御賛成ヲ仰グニ付キマシテ、私ハ此際今回ノ稅制整理案ヲ通觀シマシテ一應私ノ卑見ヲ申述ベテ主張ノ理由ヲ明ニ致シテ置キタイト思フノデアリマス、稅制整理ノ必要ノ有無ト云フコトニ付キマシテハ、最早今日ニ於テハ問題デゴザイマス、其必要ハ國民ノ輿論ニ依テ認メラレテ居ル所ト私ハ思ヒマス、唯整理ノ方法如何ガ問題デアリマスガ、今回ノ整理ニ係ル政府ノ御方針ヲ承リマスルノニ、現行制度ノ缺陷ヲ矯正シテ、國民負擔ノ均衡公正ヲ得セシメルニアルノデアリマスケレドモ、負擔ノ輕減ヲ圖ルト云フコトハ今日ノ財政ノ狀態ニ顧ミテ、極メテ困難デアリマス故ニ、大體ニ於テ歲入ノ總額ニ著シキ増

減ヲ來サシメザル範圍ニ於テ、整理スルト云フコトデアリマス、其負擔ノ公正均衡ヲ期スルト云フコトニ付キマシテハ、は何人も議論ノナイ所デ、國民ハ其徹底ノ實現ヲ要求シテ居ルノデアリマスルケレドモ、歳入ノ總額ニ増減ヲ來タサヌト云フ制限ヲ附セマシタコトニ依テ、今回ノ整理ハ全ク之ヲ其根本ニ於テ無意義ノモノニシテ了ツタト私ハ考ヘルノデアリマス、自分ト致シマシテハ深ク之ヲ遺憾トスル者デアリマス、政府ハ今回ノ稅制整理ヲ根本的整理ト云フヤウニ仰セラレハ、現内閣ノ政策ノ中ノ最も重要ナルモノ、一ツニ數ヘテ居ラレマスケレドモ、元來稅制ヲ根本的ニ整理シヤウトシマスルナラバ、其先決問題ト致シマシテ、近年我國ノ財政ノ非常ナル膨脹ニ顧ミマシテ、其根本的整理緊縮ヲスルト云フコトガ必要デアアル、ソレカラ國民ノ經濟生活ノ實際ノ狀態ヲ宜シク調査研究スルト云フコトモ必要デアアル、此二ツノモノノ關係ヲヨク考慮イタシマシテ、同時ニ國民各階級ノ負擔能力ヲ十分ニ考ヘテ立案スルコトガ必要デアルト思フノデアリマス、ソレ以外ニ何等ノ制限拘束等ヲ設クベキモノデハナイト思フ、設ケテハナラヌト私ハ考ヘルノデアリマス、然ルニ今回ノ整理ハ今日ノ歳入ニ増減ヲ來サヌト云フガ如キ、誠ニ根本的ノ整理ト致シマシテハ不思議千萬ナル制限ガ附セラレテ居ル、斯ノ如キ制限ヲ附セマシタ整理ハ、唯今申シタ先決問題ヲ全ク度外視シマシタ整理デアリマスルカラ、決シテ本當ノ整理ナントハ言ヒ得ラレヌト思フノデアリマス、又實際問題トシテ考ヘテ見マシテモ、今日我が國民生活安定ノ必要上、稅制ヲ整理シマスルカラニハ、是非トモ負擔ノ輕減ヲ考慮シナケレバナラヌト云フコトハ、は何人も認メテ居ル所ト存ジマス、國民モ亦之ヲ期待シテ居

ルノデアリマスルケレドモ、是レガ行ハレマセヌデシタコトハ、如何ニモ残念ニ存ズルノデアリマス、政府ハ是ガ行ハレナクタル理由ヲ、今日ノ財政ノ狀態ニ歸シテ居ラレマスケレドモ、成ル程今日ノ財政ノ實情デハムヅカシイデゴザイマセウ、併ナガラ、ソレハ政府ガ行政財政ノ整理緊縮ヲモット根本的ニ、モット徹底的ニ行ハレナクッタ爲デアルト私ハ思フ、此コトニ付キマシテハ、私ハ過日本會議ニ於キマシテ、相當詳細ニ申述ベテ置キマシタカラ、茲ニ之ヲ繰返ヘスコトハ差控ヘマスルガ、要スルニ政府ノ行政整理及官營事業ノ整理、即チ政府事業ノ整理節約ト云フコトガ甚ダ不徹底デアアル、姑息デアアル、從テ最モ本問題ノ中、稅制整理モ、收入ヲ變ヘナイト云フガ如キ甚ダ奇怪ナ制限ヲ必要トスルコトニ至リマシタノデ、私ガ本議場ニ於キマシテ、此稅制整理案ハヤリ繰リ整理ナリト申シタコトモ全クソコニアッタノデアリマス、私一個ノ希望ト致シマシテハ、今日此案ヲ通過セシメマシテ、再ビ近キ將來ニ於テ本當ノ整理案ヲ提出スルト云フ如キコトハ、國民ニ徒ラニ不安迷感ヲ掛ケルノミデ、誠ニ面白クナイコトデアリマスカラ、今度ハ政府ニ案ノ撤回ヲ御願シテ、一年掛シテモ二年掛シテモ宜シイノデアリマスカラ、再ビ行政財政ノ根本的ノ整理ヲ行ハタ後ニ、之ニ付テ本當ノ稅制整理案ヲ提出セラレタイト思フノデアリマス、併ナガラ本案ハ既ニ衆議院ヲ通過シテ參議院ノデアリマスカラ、之ヲ貴族院ニ於テ今否決シ去ラヌトスル如キコトハ、貴族院トシテ慎マネバナヌコトと思フノデアリマス、不満足ナガラ之ヲ認ムルノデアリマス、而シテ是々ノ案ガ現行法案、或

ハ現行法ヨリハ、幾分デモ改善サレテ居リマスル以上ハ、政府原案ノ儘ニ御通シニナシテ宜シカラウト思フノデアリマス、各案ソレゾレノ内容ニ付テ見マスレバ、相當ニ改善セラレタ點ハアルノデアリマス、即チ所得稅法ニ於キマシテハ法人ノ所得中、留保所得及配當所得ヲ廢シテ、配當シテモシナクテモ、所得金額ニ對シテ一率ニ比例稅ヲ課スル、同族會社ノ合理的脫稅ノ取締ヲ嚴重ニスル、地租ノ課稅標準ヲ各稅目トモ、全部賃賃價格ニ改メ、營業稅ノ外形標準課稅ヲ改メテ、營業收益ノ課稅標準ニ改メルト云フガ如キコトハ、至極結構ノ改正デアルト思フノデアリマス、又同時ニ資本利子稅トカ、或ハ清涼飲料稅ノ新設ノ如キハドウモ感服ガ出來ナイヤウナ心持ガ致スノデアリマス、一々是等ノ諸案ニ付キマシテ「アラ」ヲ探シマスレバ幾ラデモ缺點ハアルガラウト思ヒマスルガ、之ヲ詳シク調査シマスルニハ、相當ノ時日モ要シマス、僅カバカリノ日數ノ間ニ數回ノ質問ヤ議論デハ是等ノ幾多ノ重要法案ノ完全ナル審査ハ私ハ不可能デアアルノミナラズ、私如キ者ニハ實際左様ナコトハ不得手デアリマスルノデ、是等ノ修正ハ他ノ專門的ノ知識ヲ御備ヘニナツテ御出ニナル委員諸君ノ御思案ニ御依頼スルノ外ハナイト思ヒマス、又政府ハ整理ノ要項トシマシテ稅制ノ體系ヲ整ヘ、社會政策的效果ヲ舉ゲタ、或ハ産業ノ振興ニ盡シタト云フ如キコトヲ舉ゲテ、誠ニ失禮ノ申分デアリマスルケレドモ、手前味噌ヲ並ヘテ御出ニナリマスルケレドモ、私ガ劈頭ニ申シマシタ先決問題ヲ十分ニ考慮セラレズシテ、御作リニナリマシタ整理案ニ、社會政策モ負擔ノ公正モアツタモノデハ私ハナイト思フ、何ガ負擔ノ公正デアルカ、何ガ負擔ノ均衡ト云フノデアアル

カ、公正ヲ得タ均衡ヲ得タト云フ理據ガドウニ現政府ハ持テ御在デニナルカ、如何ナル數字上ノ根據ニ依ツテ、斯カル改正ヲサレタノデアルカト云フヤウナコトヲ伺ヒマスレバ、政府ハソレハ分ラヌト云フテ御市ニナラヌノデアリマス、要スルニ政府ガヤラレル社會政策トカ、或ハ負擔ノ均衡トカ云フコトハ、今日日本ニ流行シテ居リマスル、社會主義的ト申サウカ、或ハ民衆主義的ト申サウカ、一種ノ舶來ノ思想ニ感レタ民衆ニ迎合センガ爲メ云ヒ草ニ過ギナイト私ハ思フノデアリマス、從テ整理ニ依ツテ社會政策的效果ガアルノ、或ハ産業振興ガ出來ルノト云フ問題ノ如キ、最早ヤ彼此議論スル必要ハナイ、アルト言ヘバアル、ナイト言ヘバナイ、ドウモ議論ハ立テ得ルコトト思フノデアリマス、斯様ナ次第デ、極メテ率直ニ私ノ腹ヲ申セバ、今回ノ整理ハ少シモ私ハ感興ヲ引キマセヌ、從テドウデモ宜イト云フノガ私ノ本旨デアアルノデアリマス、故ニ私ハ多少自分ノ良心ノ判斷ニハ背キマスケレドモ政府ノ案ヲ此儘通過サセテ然ルベシト思フノデアリマス、只一事ドウシテモ看過ノナラヌコト、而カモ政府ノ態度ニ於テ甚ダ不可解デアルト思ヒマス、ハ、政府ハ衆議院ノ修正ニ同意セラレマシテ地租ノ一分減ヲ撤回シ、其代リニ義務教育費國庫負擔額ノ一千万圓ノ増額ヲ承認セラレマシタコトト、地租ノ免稅點ノ設定ヲ自作農ニ限ラレタコトデアリマス、私ハ政府ハ與黨ニアラザル黨派ト妥協スルコトハ惡イトハ決シテ申サマノデアリマス、衆議院ノ解散若クハ内閣ノ更迭ヲ避ケル手段ト致シマシテ出來ルダケノ妥協ヲ試ミルコトハ、衆議院ニ絕對多數ヲ擁シテ居ラナイ政黨ヲ組織シテ居リマスル内閣ト致シマシテハ、御尤モ千万ノ措置ト思フノデアリマス、

併ナガラ現内閣ノ政綱ノ一ツトモ言フベキ
稅制整理ノ根本ヲ破壞スルガ如キ衆議院ノ
修正案ニ、易々ト政府ノ同意セラレタニ至
テハ私ハ實ハ政府ノ所信ニ對シテ疑ヒヲ懷
カザルヲ得ヌノデアリマス、而カモ此修正
案ガ原案ノ改善ナラバマダシモデアリマス
クレドモ、私ハ此修正ハ改善ニアラズシテ
改惡ナリト申シテ宜シト思フノデアリマ
ス、私ガ斯ウヤウニ申ス理由ハ、過日本案
ガ本院ニ上程ノ時ニ私ガ政府ニ對シマシテ
致シタ質問ニ依ッテ略、皆様ニ於カレマシ
テモ御諒解ガ出來ルコトト思ヒマスルカ
ラ、今日之ヲ詳シク述ベマスルコトハ避ケ
マスクレドモ、要スルニ第一ニハ衆議院ノ
修正案ハ政府ノ稅制整理計畫ノ實質ヲ根
カラ變ヘルモノデアアル、第二ニハ兩々相
立ンデ所得稅ノ補完稅タル地租ト營業稅トノ
不權衡ヲ益助長セシムルモノデアアレ、第
三ニハ之ガ爲ニ義務教育費國庫負擔一ノ
圓ヲ増額スルト云フコトハ、嚴格ノ意ヲカ
ラ申セバ國庫負擔法制定ノ趣旨ニ反シ、
或ハ違法トモ看做サレ得ルノミナラス、之
ガ爲ニサナキダニ放漫ニ流ル、傾キガアル
市町村ノ財政ヲ益放漫ニ赴カシムルト云
フ虞ガアルト思フノデアリマス、第四ニハ
此修正ハ其形式ニ於テハ明ニ二個ノ異ナリ
タル性質ノ問題デアアル、又一ハ歳入ノ減
アツテ、他ハ歳出ノ増加ニナルト云フヤウ
ナコトデ、豫算上ノ關係ニ於キマシテモ全
ク違フ事柄デアアルノデアリマス、第五ニ
ハ小作農ニ免稅點ノ恩典ヲ與ヘナイト云フ
コト、農村關係ニ於ケル社會政策的ノ問題
ト致シマシテハ、是ハ重大ナル關係ト思ヒ
マス、其他自作農ノミニ免稅點ヲ設定セル
結果ト致シマシテ、色々ノ不便不利缺陷ガ
起ルコトハ豫想シ得ラレマスルコトハ、私
ガ本會議ニ於テ申シタ通りデアルト思ヒマ

ス、是等ニ對シテ政府ハ非常ニ辯疏釋明サレ
タノデアリマス、クレドモ大藏大臣ノイツ
モノ極メテ明快ナル御答辯ニ似ズ、一トシ
テ私ヲ首肯セシムルニ足ルモノハナイノデ
アリマス、即チ私ハ政府ガ此改惡の修正ヲ
行ジテ受ケラレマシタノハ所謂政局安定、
私カラ見レバ不安定のノ政局安定、即チ一
時的安定ノ爲ニ妥協セラレタノデハナイ
カト思フノデ、稅制整理ノ如キ國民生活ニ
取ッテ最も大切ノ問題ヲ、一時ノ政局ノ安定
ノ爲ニ犧牲ニ供セラレマシタコトハ、私ノ
甚ダ遺憾トスル所デアリマス、斯ノ如キ政
局ハ自分トシマシテハ寧ロ打破シテ宜カラ
ウト思フ、衆議院ガ政府案ニ附イテ來ナケ
レバ解散ヲ爲サルナリ、或ハ總辭職ヲ爲サ
ルナリガ立憲政治ノ常道デモアリ、又現在
ノ時局安定ヲ促進スル所以デアルト私ハ思
フノデアリマス、政府ガ政府ノ所信ヲ擲
マデモ妥協スル必要ハ毛頭ナイト信ズルノ
デアリマス、斯ノ如ク私ハ案其モノ、善シ
惡シヨリ考ヘマシテモ、又之ヲ政治的ニ考
ヘテ見マシテモ政府ヲシテ政府ノ原案ヲ復
活セシムルコトガ、稅制整理ノ本旨ト確信
シマムルガ故ニ、自分トシマシテハ自分ノ
常識判斷カラ見テ極メテ強ク政府原案ノ復
活ヲ主張スル次第デアリマス、決シテ私ハ
皮肉のニ云爲スルモノデモアリマセヌ、又
一部ノ人々ガ考ヘテ居リマスル如ク決シテ
之ニ依テ政局ノ紛糾ヲ來サムトスル如キ心
底ヨリ申シテ居ルモノデナイト云フコト
ハ、ドウゾ諸君ニ於カレマシテモ御諒水ア
ラムコトヲ願ヒマス

○男爵阪谷芳郎君 藤村君ノ修正意見ニ贊
成イタシマス、理由ハ私ハ本會議デ述ベテ
置キマシタカラ……
○委員長(子爵前田利定君) 藤村君ノ御説
ハ阪谷男爵ノ御贊成ニ依ッテ問題トナリマ
シタ、即チ地租條例中改正法律案、衆議院
ノ修正案ガ只今原案トナッテ居リマスルガ、
元ノ政府ノ原案ニ引戻スト云フコトニ結局
ナル御説ト拜承イタシマシタ
○馬場鑛一君 私ハ地租條例中改正法律案
ハ衆議院ノ修正通りデ宜イト云フ意見ヲ
持ッテ居リマスガ、今マデハ只今ノ藤村君ノ
修正意見ニ對シテ反駁の意見ハ此席デハ申
上ゲマセヌ
○委員長(子爵前田利定君) 他ニ御發言ゴ
ザイマセヌカ……ゴザイマセヌクレバ採決
イタシマス、問題ハ藤村男爵ノ本案修正ノ
意見ニ贊成セラレル方ノ御手ヲ御舉ゲ下サ
イ
(舉手者 少數)
○委員長(子爵前田利定君) 少數ト認マ
ス、故ニ地租條例中改正法律案、ソレニ關
聯スル明治三十七年法律第十二號中改正法
律案ハ原案ノ通り可決相成リマシタモノト
認マヌ
○山田惠一君發言ノ許可ヲ求ム
○委員長(子爵前田利定君) 山田君ハ何ン
デアリマスカ
○山田惠一君 此修正案……此地租條例
ニ付キマシテ……
○委員長(子爵前田利定君) 御發言ガゴザ
イマセヌカト申上ゲマシタ所、御發言ガナ
イト仰セラレマシタ故ニ採決ニ這入りマシ
タ
○南弘君 ソレハ私等モ斯ウ云フコトニ了
解シタノデアリマスガ、藤村男爵ノ修正意
見ニ關シテ意見ガナイカト云フヤウニ我々
ハ了解シタノデアリマシテ、ソレデ實ハ……
山田君モ恐ラクハサウデアラウト……
○委員長(子爵前田利定君) 委員長ハ他ニ
御發言ガゴザイマセヌカ此際別ニ御修正
ノ意見ガ御提出ガナイモノト思ヒマシタノ

デ、山田君ガ更ニ御修正ノ意見ヲ御述ベニ
ナルト云フコトデゴザイマスナラバ只今ノ
討議ハ一旦元ニ戻シマセウ
○山田惠一君 私ガ修正案ヲ提出イタシマ
スノハ此地租條例中第十三條ノ二ノ問題デ
アリマス、近來此農村ガ非常ニ疲弊ヲ致シ
マシテ、農村振興ノ問題ガ喧シクナッテ參
タト云フコトニ付キマシテハ、種々ノ理由
ガアリマス、ソレハ農業ト云フモノガ他ノ
職業ニ比ベマシテ利益ノ點ガ少ナイト云フ
コトガ大ナル原因ノ一ツデアラウト云フコ
トハ勿論デアリマスルガ、一面ニハ此農業
者ニ於ケル所ノ中産階級、言葉ヲ平タク申
シマスレバ、自作農ガ段々減少シテ來ルト
云フコトガ大ナル原因ノ一ツトナッテ居リ
マス、故ニ農業者ト致シマシテハ自作農創
定維持ト云フコトニ付キマシテ、數年來政
府ニ御願ヲ致シテ居リマス、然ル所現内閣
ガ成立セラレマシテ、此自作農ノ創定ト云
フコトニ付テニ二百圓以下ノ地價所有者ニ
向ッテ免除スル上云フ御發案ヲナサレマシテ、
農業者ト致シマシテハ非常ニ喜ビニ堪ヘヌ
次第デアリマス、然ルニ此十三條ヲ讀ンデ
見マスルト云フト、最初御發案ニナッテ當
時ハ同一町村内ニ住居ヲ致シテ居ル二百圓
未滿ノ地價所有者ニ向ッテ免稅スルト云フ
コトニナッテ居リマシタノガ、衆議院ニ於テ
本黨ト妥協ノ結果隣接町村ヲ加ヘルヤウナ
コトニ修正サレマシタ、是ニ對シマシテ私
共ノ考カラ見マスルト、此自作農創定ト云
フモノニ對スル所ノ權限ヲ狭メラレタモノ
ト考ヘルノデアリマス、如何トナレバ百九
十五圓ノ地價ヲ持ッテ居ッテ、隣接町村ニ二
十圓バカリノ土地ヲ持ッテ居ル爲ニ、其合
計ニ依ッテ三百圓ノ範圍ヲ超ス、斯様ナモ
ノニナリマシテ其恩典ガ受ケラレヌコトニ
ナルノデアリマス、最初政府ガ御發案ニナ

リマシタ所ノ御意見ニ依リマス、同一町村内ノ住民デアリマスルガ故ニ、二百圓以下百九十五圓デモ恩典ヲ、受ケタノデアリマス、然ルニ今度ノ隣接町村ト云フモノガ加ハリマシタ結果、或ル小數ノ人ニハ都合ノ宜イ場合モ出來ルカモ存ジマセヌガ、實際ニ於テ多クノ場合ニ於テハ却テ不利益ニナル、却テ政府ノ御意見ハ私ガ今日修正ヲ致サントスル所ノ御意見デアッタノデハナイカト私ハ信ズルノデアリマス、カル

ガ故ニ二十三條ノ第二ヲ斯様ニ修正致シタイト思フノデアリマス、前條ノ規定ニ依リ地租ヲ納ムヘキ者(法人ヲ除ク)ノ同一町村内ニ於ケル田地價ノ合計金額ノ同居家族ノ分ト合算シ二百圓未滿ナルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ田地租ヲ徵收セス隣接町村ニ於ケル田地價ト合セテ二百圓未滿ノ場合亦同シ、但シ小作ニ付シタル其住

所地以外ノ市町村ニ於ケル田地ニ付テハ此限リニアラス、斯様ニ修正ヲ致シタルバ地方ノ農業者ノ適切ニ、而モ多數ノモノガ其恩典ニ浴スルト云フコトニナリマスカラ、私ハ此修正案ヲ提出イタシタル所以デアリマス

○南弘君 賛成
○委員長(子爵前田利定君) 南君ハ御賛成デスカ

○南弘君 賛成
○委員長(子爵前田利定君) 山田君ノ修正意見ニハ賛成者ガアリマス、故ニ問題ニ供シマス、山田君ヨリ提出セラレマシタル修正意見ニ御賛成ノ方ノ舉手ヲ願ヒマス

(舉手者 少數)
○委員長(子爵前田利定君) 少數ト認メマス、他ニ御意見ノ御發表ハゴザイマセヌカ、ゴザイマセヌケレバ、地租條例中改正法律案、明治三十七年法律第十七號中改正法律

案、之ヲ可決スベシト云フ諸君ノ舉手ヲ願ヒマス

(舉手者 多數)
○委員長(子爵前田利定君) 多數ト認メマス、故ニ本案兩案ハ可決セラレマシタ、次ニ營業稅法廢止法律案ヲ問題ニ供シマス、營業稅法廢止法律案ニ付キマシテハ御意見ゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)
○委員長(子爵前田利定君) ソレデハ是ハ廢止ト可決セラレマシタ、所得稅法中改正法律案、並ニ之ニ關聯イタシテ居リマス

大正九年法律第十二號中改正法律案ノ討議ニ戻リマス、唯今大藏大臣ハ御出席ゴザイマセヌケレドモ、總理大臣ガ御出席ニナリマシタカラ、馬場君カラ先程ノ御言葉ヲ簡單ニ要旨タテ御陳述ヲ願ヒマス、

○馬場一君 所得稅法第十四條第一項第一號ノ所得、之ニ付キマシテ先般委員會ニ於テ政府當局ノ説明スル所ニ依リマス、今回ハ、此主タルモノハ營業ニ非ザル貸金ノ利子デアリマスガ、一年後レテ取テ行ク、即チ前年分ノ利子所得ヲ今年取ル、今年ノ分ヲ來年取ル、斯ウ云フ風ニ今回制度ヲ改メラレタノデアリマス、從テ大正十四年分ニ付テハ既ニ豫算ニ依ッテ、十四年分ノ貸金ノ利子所得ハ課稅セラレテ居ルノデアリマス、然ルニ過日政府委員ノ説明スル所ニ依ルト、或ハ十四年分ノ利子所得ニ付テモ十五年ニ於テ再ビ課稅スルガ如キ語

調ヲ以テ答辯セラレタノデアリマス、是ハ所謂二重課稅ニナルト思フノデアリマス、故ニ十四年分ノ所得ニシテ既ニ課稅セラレタモノハ十五年ニ於テ再ビ課稅スベカラザルモノト考ヘルノデアリマス、若シ此點ニ付テ政府ヨリ二重課稅ヲ致サナイト云フコトノ御聲明ガナリマスナラバ、我々ハ其聲明

ニ信賴ヲ致シマシテ所得稅法中ノ修正ハ致サヌ積リデアリマスルガ、若シ尙ホ過日政府委員ノ説明セラレタルガ如キコトデアルト云フナラバ、明カニ不當ナル二重課稅ト思ヒマスカラシテ、已ムヲ得ズ本案附則ニ於テ適當ナル修正ヲ加ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレ故ニ此點ニ關シテ總理大臣ノ御聲明ヲ得タイノデアリマス

○國務大臣(若槻禮次郎君) 唯今言明ヲ御要求ニナリマシタ點ハ、所得稅法第十四條第一項第一號ノ所得ニ關スルモノデアリマスガ、此所得ニ關スル大正十四年度分ノ課稅ニ付キマシテハ、大正十四年度分ノ豫算課稅ト實際上二重課稅ノ結果ヲ來サナイヤウニ實行上適當ニ考慮スルコトニ致シタイト思ヒマス

○委員長(子爵前田利定君) アトハ宜シウゴザイマス
○馬場一君 唯今ノ御言明ニ付テ、不當ナル二重課稅ハ爲サヌト云フ御言明ト認メマスルガ故ニ、私ハ其御言明ニ信賴イタシマシテ、所得稅法ニ修正ヲ加ヘルコトハ致サナイ、原案全部ニ賛成ヲ表スル次第デアリマス

○委員長(子爵前田利定君) 所得稅法中改正法律案ニ付マシテ他ニ御意見ゴザイマセヌカ
(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(子爵前田利定君) 所得稅法改正法律案並ニ大正九年法律第十二號中改正法律案、兩案ヲ可決スベシトスル諸君ノ舉手ヲ願ヒマス

(全員舉手)
○委員長(子爵前田利定君) 滿場一致ト認メマス、次ハ討議ノ便宜上資本利子稅法案ヲ問題ニ供シマス

○馬場一君 資本利子稅法ニ付テハ大體

ニ於テ原案ノ通りデ異議ハナイノデアリマスガ、茲ニモ一ツ政府ニ御言明ヲ仰イデ、我々ハ修正ヲ控ヘタイト云フ問題ガアルノデス、尤モ此點ハ過日政府委員ヨリ相當ノ御言明ハアリマシタノデアリマスガ、尙ホ此際六案ヲ可決スルニ付キマシテ、總理大臣ヨリノ御言明ヲ得タイト思ヒマス、即チ御承知ノ如クニ我國ガ外國ニ於テ發行シタ公債ノ中デ、日本ニ居住シナイ外國人ノ所有

ニ屬スルモノニ付マシテ、日本ノ此種ノ課稅ニ對シテ除外スルト云フコトヲ定メタモノガアルノデアリマス、而シテ此モノハ多クハ外國ニ於テ、利子ノ支拂、元利ノ支拂ヲ受ケルデアラウト思ヒマスガ、爲替ノ關係等ニ於テ、日本内地ニ於テ支拂ヲ受ケル者ガナキニシモ非ズデアリマス、殊ニ此種ノ公債ノ中ニハ元利ノ支拂ヲ爲ス旨ヲ定メタモノガアルノデアリマスカラ、同様ナモノニ對シテ、資本利子稅ヲ課セルト云フコトニアリマス、即チ一切ノ租稅ヲ課スル云フコトヲ契約シテアルノデアリマスガ故ニ、斯様ナモノニ對シテ資本利子稅ヲ課セルヤウナコトニ相成テハ、外國ニ對スル信用問題ニ關係アリマスカラ、是ハ明カニ假令内地ニ於テ支拂ヲ受ケルニ於テモ此種ノモノハ、外國人ノ所有スルモノデ本邦

内デ支拂ヲ受ケル者ニ付テモ、其資本利子稅ヲ課セヌト云フコトニ付テ、御言明ガ必要デアラウト思フノデアリマス、此點ニ付テ總理大臣ノ御言明ヲ願ヒマス

○國務大臣(若槻禮次郎君) 外國ニ於テ發行イタシマシタ國債中、日本ニ居住セザル外國人ノ所有イタシテ居リマス者デ、公課ヲ課セザル旨ヲ約束シテアルモノニ付マシテハ、日本ニ於テ利子支拂ヲ爲シマス場合ニ於テモ、資本利子稅ヲ課セザル考デア

ノデアリマス

○馬場鎮一君 唯今ノ御聲明ガアリマシタ以上ハ私ハ資本利子税原案全部ニ賛成イタシマス

○委員長(子爵前田利定君) 他ニ御意見ノ御陳述ハゴザイマセヌカ、ゴザイマセヌカ、ウニ認メヌカヲ採決ニ入りマス、資本利子税法、之ヲ可決スベシトスル諸君ノ舉手ヲ願ヒマス

(全員舉手)

○委員長(子爵前田利定君) 全會一致ト認メマス、故ニ可決サレマシタ、次ハ營業收益税法案ヲ問題ニ供シマス

○男爵阪谷芳郎君 本員ハ此營業收益税法ニ付マシテ、二三箇所修正スベキモノト考ヘマスル、其二三箇所ノ修正ハ税率等ニ付テノ修正、又ハ營業稅ノ純益ヲ算出イタシマスル方法ニ付テノ修正、並ニ帳簿物件ノ檢査ニ付テノ修正、此三點ニ付テノ修正ヲ施スベキモノナリト信ズルノデアリマス、

此營業稅ハ明治二十七八年ノ日清戰爭ノ結果ト致シマシテ、國費多端ノ爲ニ當時四ツノ増稅法ヲ政府ガ提出イタシマシタ、其四ツノ増稅法案ノ一ツガ營業稅デアリマシテ、最初施行サレマシタ營業稅ノ中ニハ種々ナル非難ガアリマシタノデゴザイマスルガ、最初ヨリ今日ニ至ル迄、種々中間ニ於テ改正ノアリマシタニモ拘ラズ、苦情ノ聲ハ一日モ絶エマセヌ、或場合ニ於キマシテハ殆ド東京市內ニ於テハ、營業稅ニ付テ穩カナラヌ舉動ニ出デムトシタ場合モアリマシテ、當時商業會議所ノ議員ガ大藏省ト其營業者トノ間ニ立チマシテ、種々穩當ナ穩便ナ處置ニシタラ宜カラウト云フヤウナコトニ迄ナツタコトガアリマス、又政府並ニ貴衆兩院ニ對シマシテモ、年々歳々苦情ノ陳情ガ絶エマセヌ、又全國ノ商業會議所及

其商業會議所ノ聯合會ニ於キマシテモ、毎年此營業稅ノ苦痛ヲ慰メルノ聲ガ絶エマセヌノデアリマス、デ此度政府ガ營業稅ノ全廢ヲ豫メテ在野當時ヨリ標榜セラレテ居リマシタ關係上、又多年ノ懸案ヲ解決スルコト云フ目的カラ、營業稅全廢ノコトニ付テノ考ヲ種々盡サレテ、即チ營業稅ハ全廢スルト云フコトニ法案モ提出ニナツタノデアリマスガ、同時ニ營業收益税法ト云フモノガ御提議ニナツタノデアリマス、然ルニ一方營業稅法ガ全廢サレタト云フコトハ、文字ノ上カラハ立派デアリマスケレドモ、營業收益税法其ノモノガ唯看板ノ塗替トナツテ現ハレタニ付マシテ、營業者ハ少カラヌ又苦情ヲ慰ヘ出シタノデアリマシテ、此營業收益税法ガ新聞ニ現ハレマスト云フト、殆ド同時ニ全國ノ商業會議所ガ反對ヲ唱ヘ、聯合會ニ於テ其反對ヲ決議スル、即チ寧ろ此營業收益税法ヨリモ、從來ノ營業稅ヲ其儘ニシテ置イテ貰フタ方ガ宜イト云フ叫ビガ起シテ來タノデアリマス、茲ニ於テ政府ガ營業稅ノ解決ヲ付ケルト云フ目的、又在野ノ時ニ現内閣ガ多年標榜シテ居タコト云フ目的ト云フモノガ、殆ンド裏切ラレタヤウナ形ニナツテ甚ダ遺憾ニ堪ヘヌノデアリマス、私ハ其營業者ニ付テモ意見モ聞キ、又説諭モシテ見タノデアリマスガ、段々切リ詰メテ聞イテ見マスト、今申述ベマシタ三ツノ點位ニ相當ノ修正ヲ加ヘタナラバ稍、是等ノ不平ノ聲ガ靜マリヤシナイカ、ドウモ全ク靜マルトモ思ハレマセヌケレドモ、併ナガラ稍、其三ツノ點ニ付テ相當ノ考慮ヲ加ヘタナラバ靜マリヤシナイカ、サウナルト營業稅ノ全廢トカ、收益稅ノ新設ト云フコトガ意味ヲナス、國民ニ對シテ信義ヲ守タト云フコトニ政府ガナルノデアリマス、既ニ衆議院カラコナラニ廻リマシタ法案デア

リマスカラ、殊ニ財政ニ關スル法案デアラカラ、成ルベク貴族院ニ於テ手ヲ著ケタクナイト云フコトハ山々デアリマスケレドモ、斯ル狀況ノ下ニ於テハ貴族院ト致シテ適當ナル修正ヲ加ヘルト云フコトガ、其職責上已ムヲ得ザルモノデアルト思フノデアリマス、殊ニ此苦情ガ、此儘收益税法ガ若シモ通過スルト致シマシタナラバ、矢張り來年カラ直ニ惡稅々々ト云フ聲ガ立テ、更ニ此看板ノ塗替ヲシテモ效能ガドウモ見エヌ、又此事ニ付テノ解決ヲ求メナケレバナラヌト云フ問題ガ他日殘ル虞レガアルト思フ、ソレ故ニ本員ノ今日ヨリ提出スル修正ハ極メテ：強キ修正デハゴザイマセヌ、衆議院ニ於テ同意セラレルノガ當然デアル程度ノ修正デアリマシテ、又御承知ノ通りノ營業收益稅ハ十六年度カラノ實施デアリマスカラ、現在ノ十五年度ノ政府豫算ニハ關係ガ殆ドナイト言フテ宜シイノデアリマス、其修正ノ箇條ヲ申シマスナラバ、第六條ノ次ヘ一ヶ條置キマシテ、此純益算出ノ方法ノコトヲ法文ニ規定シテ置キタイノデアリマス、ソレハ「營業ノ純益算出ノ方法ニ付テハ大藏大臣ニ於テ重モナル商業會議所十箇所以内ノ會頭ヨリ成ル委員會ヲ組織シ其ノ意見ニ基キ命令ヲ以テ之ヲ定ム其ノ變更ヲ要スル時亦同シ、即チ此純益算出ト云フヤウナコトハ一般ノ商習慣ニ依ラナケレバナラヌ、一般ノ商習慣ニ依ルベキモノデアリマシテ、其中ニ錯綜イタシテ居リマスカラ、之ヲ收稅官吏ト納稅營業者トノ唯話合ニ委シテ置キマス種々區々ナルコトガ起ルノミナラズ、其間ニ於テ苦情百出シテ甚ダ面白カラヌ問題ヲ惹起スデアラウト思ヒマス、近年ハ稅法ハ民衆化スル、民衆化ト云フ言葉ガ行ハレルノデゴザイマス、此度ノ酒造稅法ニモ酒造組合ヲ大イニ

御利用ナサルト云フコトハ至極結構デアリマスガ、營業收益稅法施行ニ付テハ、何等カ中間ニ公平ナル位置ニ立ッテ意思ノ疏通ヲ圖ルモノガ必要デアラウト思フ、所謂稅法ノ民衆化、收稅官吏トシテハ之ガ爲ニ責任ヲ輕クスルコトガ出來、納稅者トシテ極メテ此意思ノ疏通ヲ得テ喜ンデ稅ヲ納メベキモノハ納メル、斯ウ云フコトニナツテ、唯單ニ何トナク收稅官吏ノ慘酷ナル仕方ヲ恨ムト云フヤウナ弊モナクナルドラウト思フノデアリマス、ソコデ、ソレニハ、商業會議所ト云フモノハ法律ヲ以テ設定サレタ有力ナル機關デアリマシテ、既往ノ歷史ニ徴シマスレバ、佛蘭西ノ巴里ノ商業會議所ノ如キハ一時政府ガナクナツタ時分ニハ、政府ニ代テ政權ヲ執リタト云フ位ナ歷史ヲ有スル位ノモノデアリマシテ、極メテ其地方ノ立派ナ人士ヲ集メテ居ル所ノ會議所デアリマス、勿論會議所其モノハ組織ガ惡ケレバ、商業會議所法ニ於テ之ニ修正ヲ加ヘレバ、ドンナニデモナルト思ヒマスノデ、勿論斯ウ云フ委員會ガ出來マスレバ單リ純益算出ノ方法バカリデナシニ、大藏大臣ガ便宜營業收益稅法實施ノ上ニ付テハ、御諮問ニナル場合モ至極便利ドラウト思ヒマス、即チ第六ノ二此一條條ヲ加ヘタイト云フノガ第一ノ修正デアリマス、第二ノ修正ハ第十條中ニ法人ハ百分ノ三・六ト稅率ガアリマノヲ、本員ハ一分ヲ減ジテ百分ノ二・六ト致シタイ、又個人ハ百分ノ二・八トアリマスノヲ改メテ百分ノ一・八ト改メタイノデアリマス、是ハ此度ノ營業收益稅ガ非常ニ重イト云フノデ、商業會議所ニ於テハ八百有餘ノ會社ノ考課狀ヲ集メテ、ソレカラ算出シテ稅ノ高ガ五割モ増スト云フコトノ調べモ出來タノデアリマス、ソレニ對シテハ此委員會ニ於テ過日政府ニ御質問イタシマシタ

結果、政府ニ於テモソレト調ベテ貰、タ
所ガ、商業會議所ノ調ベノ中ニ粗漏ナ
ル所ガアルト云フ御話デアリマス、併シ
前年戦時利得稅ヲ課ケラレマシタ時ニ、
工業俱樂部並ニ商業會議所ニ於テ、是
ハ大變ニ政府ノ見積リハ小、斯ノ如キ稅
率ヲ起スナラバ非常ニ大キナ高ガ取レル
ト云フコトヲ申シタノデ、貴族院デ修正說
ガ起リマシタ場合ニ、政府カラ矢張りサウ
デナイト云フ材料ヲ御提供ニナツテ、貴族院
ハソレヲ信ジテ政府案通リニ賛成シタノデ
アリマスガ、其後非常ナル豫算超過デ全ク
政府ノ説明ハ間違、テ居ル、工業俱樂部並
ニ商業會議所ノ調ベガ正當デアッタト云フ
コトガゴザイマスノデ、爾來所得稅ナリ營
業稅ノ如キ實業ニ關シマスル方面ニ付テ
ハ、當局ノ調ベヨリモ算盤ガ確デアルト云
フ觀念ヲ一般ニ有、テ居リマス、故ニ此度
ノ事柄ニ付キマシテモ、決シテ政府ノ御調
ベ故意ニ作ラレタモノトハ誰モ考ヘマセヌ
ケレドモ、何等カノ御間違ヒデアラウト云
フコトヨリ、非常ニ營業者ノ間ニ苦情ガ多
イ、ソレデ本員ハ五割増サウトスレバ半
分ニ稅率ヲ減サナケレバナラヌ位ニ考ヘマ
スケレドモ、政府ノ御調ベ何トカ據ル所ガ
アルモノト思ヒマスカラ、一箇ダケヲ減ジテ
百分ノ二・六、百分ノ一・八ト改メノガ適
當デアラウ、之ニ依レバ政府ガ豫定シテ居
レル所ノ收入ハ略、得ラレル、斯ウ云フ考
ヲ持ツノデアリマス、デ或ハ之ニ付テハ何
カマア希望條件デモ述ベテ、來年多カ
タラ稅率ヲ改メテ貰フコトニシタラド
ウカト云フ、過日來御質問等ニモ現レタ
デアリマスガ、又大藏大臣モ本員ノ質問ニ
對シテサウ云フコトヲ繰返シテ答辯セラレ
タノデアリマスケレドモ、苟モ不必要ナル
稅ヲ人民カラ取ルト云フコトハ道理ニ於テ

ハ許サヌノデアリマス、デ多カッタラ減スト
云フ位ナ考ヲ持ツナラバ、初メヨリ多ク取
ラヌ方ガ宜イ、多ク取ラズニ置イテ、足ラ
カッタラバ多ク取レバ宜イノデアリマシテ、
必要ナル國費ニ對シテ國民ガ必要ナル財源ヲ
提供スルト云フコトハ、誰モ異存ガアル筈
ハナイノデアリマス、サスレバ全廢ヲシテ
ヤラウト云フノハ三十年來ノ宿題デアリマ
スカラ、全廢ヲサレベキモノト國民ハ信ジ
テ居、タノデアリマスカラ、セメテ半分ニナ
ラナクテモ、幾ラカ安クナルト云フコトガ
當然デアアルノニ、重クナルト云フコトノ調
ベガ出タモノデアリマスカラ、是ガ非常ニ
苦情ノ種ニナツテ居リマス、又事實ニ於テ
今マデハ外形ニ依、テ取ツタ稅ヲ純益ニ依、テ
取ルト云フコトニナリマスカラ、非常ニ納
稅者ノ間ニ輕重異動ガ起、テ來タ、是ハ法
律ノ結果止ムヲ得ヌトハ申シナガラ、今マ
デ輕カリシモノガ急ニ舊來ヨリモ稅率ガ増
スト云フコトガ信託會社ナドニアルサウデ
アリマス、サウ云フヤウナモノハ非常ニ氣
ノ毒ニ思フ、成ベク一般ニ稅率ヲ、雙方ノ調
ベガアリトスレバ、各商業會議所ノ調ベナ
リ、其他ノ調ベニ依、テ、稍、豫期ノ收入
ヲ得ラレルト云フ程度ニ稅率ヲ定メルト云
フコトガ適當デアラウ、故ニ第十條ノ稅率
ヲ一箇宛減スト云フ修正ヲ提議イタシマ
ス、是ガ第二ノ修正、第三ノ修正ハ第二十
五條ノ帳簿物件ノ檢査ノコトデゴザイマ
ス、是ハ從來非常ニ弊害ガアリマス、所得
稅ニ付テモ、營業稅ニ付テモアリマシテ、
收稅官吏ハ帳面ヲ見セロ帳面ヲ見セロト
云、テ脅カス、富豪ノ人ニ於テハ別段隱シ
テアルノデハナイケレドモ、併ナガラ自分
ノ財産ヲ子供ヤ女房ヤニ分ケテヤルト云フ
コトハ富豪ノ家デハアルノデアリマスガ、
ソレガ收稅官吏ニ依、テ見ラレテ、若シ色

色ナ所デ漏レルト云フヤウナコトガアル
ト、家内ノ不和デモ起スト云フヤウナコト
デ、皆帳簿ヲ見ラレルト云フコトハ好ミマ
セヌ、ソレガ爲ニ泣ク、收稅官吏ノ言フ
通りニスルト云フヤウナコトモアル、又營
業稅ニ至リマシテハ、收稅官吏ガ店デ以テ
亭主ト取ツ組ミ合ヒヲ始メル、オカミサン
ハ帳面ヲ持、テ裏口カラ逃ゲル、裏口デモ
收稅官吏ガ待、テ居、テ、オカミサント收稅
官吏ト摺ミ合ヒガ始マルト云フヤウナコト
ハ屢、聞ク所デアリマス、サウ云フコトカラ
シテ又弊ガ起、テ、遂ニ先年日本橋稅務署
ニ非常ナ收賄事件ト云フモノガ起、タ、又
各地ニモ收賄事件ガ起ル、ソレノ多クハ所
得稅營業稅ノコトカラ起ルノデアリマス、
甚ダ忌ムベキコトデアリマスケレドモ誠ニ
止ムヲ得ヌコトデアリマス、デ此度ハ營業
稅ヲ全廢セラレヌニシテモ、サウ云フヤウ
ナ苦痛ヲ免レルモノト一般ニ信ジテ居、タ
ラシイノデアリマスルガ、ソレハ矢張り此
第二十五條ガアリマスノデ、之ニ付テ非常
ニ苦情ガ多イ、併シ是モ一ツノ稅ヲ取ル上
カラハ矢張り正宗ノ寶刀デアリマスカラ、
拔カヌニシテモ之ヲ全部無クスト云フコ
トハ收稅ノ事務上ニ於テハ、或ハ今日國民
ノ納稅道德ノ程度デハ少シク無理カモ知レ
マセヌノデ、即チ二十五條ヲ少シク緩和シ
タイノデアリマス、即チ二十五條ヲ修正イ
タシマシテ「收稅官吏ハ營業者ニ質問スル
コトヲ得、收稅官吏ハ營業者カ速ニ質問ニ
答ヘヌ又ハ答フルモ答辯要領ヲ得サルトキ
ハ營業者ノ營業ニ關スル帳簿物件ヲ檢査ス
ルコトヲ得、前項ノ場合ニ於テ收稅官吏ハ
帳簿物件檢査ノ必要ヲ認ムル理由ヲ具シ所
得稅調查委員會ノ同意ヲ得豫メ其旨ヲ營業
者ニ通知スヘシ」デ其實問ト云フコトハ所
得稅ノ方ニモゴザイマスルノデ、單ニ質問

ニ止ムレバ營業者ニ於キマシテハ苦痛ハア
リマセヌ、併ナガラ中ニハ非常ニ惡意ノア
ル營業者ガアリマスカラ、質問ヲ致シマシ
テモ一向答ヘナイ、又答ヘテモ故意ニ要領
ヲ得ヌヤウナ答ヘヲスル輩ノナイコトモゴ
ザイマセヌ、サウ云フ場合ニハ檢査ヲスル
ト云フコトノ權限ヲ收稅官吏ガ持ツト云フ
コトハ止ムヲ得ナイト思ヒマスルガ、其濫
用ヲ防グ爲ニ收稅官吏ガ其帳簿物件ノ檢査
ヲスル必要ヲ認メタ時ニハ、其理由ヲ具シ
テ所得稅調查委員會ノ同意ヲ得、豫メ其旨
ヲ營業者ニ通知シテ檢査ヲスル、所得
稅調查委員會ハ常ニ開イテ居リマセヌカ
ラ、多少ノ茲ニ不便ガアリマセウケレド
モ、是ナラバ收稅官吏ノ檢査ノ權限ヲ九デ
廢シタノデハナイノデアリマスカラ、其檢
査ノ權限ト云フモノハ矢張り殘シテ置ク、
唯所得稅調查委員會ニ一應相談ヲシナケレ
バナリマセヌカラ、其相談ヲ豫メシテ置ク
カ、或ハ其時ニスルカト云フコトハ實際
ノ場合ニ於テ定メナケレバナラヌコトデア
リマスガ、免ニ角收稅官吏ガ獨斷デ勝手ニ
檢査ハ出來ヌ、彼レハ惡イ奴デ困、タ奴デ
調ベタ上ニ檢査ヲスルト云フコトニシタラ
宜カラウト云フノガ第二十五條ノ修正デア
リマス、デ之ニ付キマシテモマアソレナラ
バ希望條件デモ宜イノデハナイカ、濫用ヲ
防グトカ云フヤウナコトノ希望條件位ヲ置
イテハドウカト云フコトノ說モアリマスル
ケレドモ、希望條件デアリマスルト、何時
ノ間ニカ希望條件ニ對シテ同意ヲシタ内閣
ハ更、テ仕舞フ、又一般ニ通牒ヲ發セラレ
テア、テモ、其通牒モ記憶カラ消エテ仕舞
フ、事ノ起、タ時分ニ營業者ノ方カラ對抗
スルコトガ出來ナイ、法律ニ依、テ此箇條
ガアリマスルナラバ、營業者ノ方デ其收稅

宮吏ニ向テ、此簡條ガアルノニ濫リニ檢査ハ出來ナイデヤナイカト云フコトガ言ヘマステレドモ、唯希望ヲ述ベテ政府ガ宜シト此席デ御答ニナツタカ、或ハ大藏省ガ通牒ヲ發シタト云フ位ノコトデハ、營業者ノ地位カラシテ收稅官吏ノ行爲ニ對抗スルカガ甚ダ弱イ、矢張り此從來ノ收稅事件等ト云フヤウナモノヲ惹起スト云フヤウナ虞ガアルノデアリマスカラ、此度營業稅ヲ全廢スルト云フコトノ仁政ヲ布カレルト云フ内閣ノ御決意デアル以上、收益稅ニ此程度ノ修正ヲ加ヘ、免ニ角三十年來惡稅タル營業稅ノ問題ヲ綺麗ニ一旦解決シタガ私ハ宜カラウト云フ考ヲ以テ此三ツノ修正意見ヲ提出イタスノデアリマス、ドウゾ滿場ノ御贊成ヲ切ニ望ミマス次第デゴザイマス

○南弘君 私モ營業收益稅法ニ付テ一ノ修正案ヲ出シタイト思フノデアリマス、實ハ阪谷男爵カラ二十五條ニ付テノ修正意見ヲ御提出ニナリマシタガ、私モ二十五條ニ付テノ修正意見デアリマス、實ハ阪谷男爵ノ前ニ私ノ修正說ヲ申上ゲタラ……營業收益稅ニ關スル修正說ヲ提出シタガ適當デアッタラウト思ヒマス、阪谷男爵ガ先キニ御述ベニナリマシタガ、免ニ角私ノ修正案ヲ茲ニ提出イタシタイト思ヒマス、從テ此決ヲ採ル場合ニ當テ私ノ修正說ヲ先キニ御採リ下サレタイ、二十五條ニ關スル關係ニ於テ私ノ修正說ヲ先キニ御採リ下サレタイト云フ希望ヲ有テ居リマス、若シ萬一ニモ私ノ修正說ガ成立タヌ場合ニ於テハ阪谷男爵ノ修正說ニ依テ私考慮シタイト思ヒマス、私ハ此二十五條ヲ削除シタイト云フ修正意見ヲ提出スルノデゴザイマス、二十五條ノ適用ノ弊害ニ付キマシテ幾ハ阪谷男爵カラ申述ベニナリマシテ、私ノ之ニ蛇足ヲ

添ヘル必要ハナイト思ヒマス、又當局者ノ御説明ヲ承リマシテモ、從來營業稅ニ付テ最モ非難ノアツタノハ、稅務官ト個人ノ接觸ノ關係ガ色々ノ煩雜ノコトガ起ル、是ガ從來營業稅ニ對スル非難ノ最モ大ナルモノ一ツデアルト云フコトハ當局者モ御認メニナツテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ、斯ノ如キ弊害ガアルナラバ其弊害ハ成ルベク此際ニ於テ無イヤウニ致シタイ、其接觸カラ色々ノ煩雜ノ生ジテ來ルト云フ其根源ハ何デアアルカト云ヘバ、此二十五條ガ根源デアルト思ヒマス、之ニ對シテ阪谷男爵ノ御修正ハ一應御尤モデアアル、實際ハ此結果ニ於テ之ヲ削除シタモノト餘リ遠クナイコトニナルカモ知ラヌト私ハ思フノデアリマスケレドモ、寧ロ斯ノ如キ條項ハ無イ方ガ宜クハナイカ、又當局者ノ御説明ヲ承テ見マシテモ、此點ニ關シテハ所得稅ニ付テ十分稅務官吏ハ知識ヲ得テ居ルカラ、マア將來ニ於テ是等煩雜ノコトヲ生ズルヤウナ心配ハナカラウト云フヤウニ説明ヲ承ルノデアリマス、實際ニ於テサウデアレバ、實際ニ於テモ餘リ必要ノナイ規定デアアル、所得稅ガ根源ニナツテ其點ニ付テ、十分ニ知識ヲ得テ居ル以上ハ此實際ニ適用ガ先ヅナイ、且ツ所得稅ノ法案ガ會テ提出セラレマシタ場合ニハ二十五條ト同ジ規定ガアツタヤウニ思ヒマス、衆議院ガ通過シテ貴族院ニ於テ削除サレタト云フコトヲ聞イテ居リマス、是ハ私ノ誤聞デアルカモ知レナイ、同ジ規定ガ今收益稅ニ現ハレルノデアルカラ、之ヲ削ルト云フコトモ貴族院ノ態度トシテハ適當ノコトデハナイカト考ヘルノデアリマス、政府委員ノ説明ニ依リマシテモ、實際上ニ於テ不便ガナイヤウニアリマスカラ、二十五條ハ寧ロ削除致シタイト云フ意見ヲ提出シテ皆樣ノ御同意アラ

ムコトヲ希望致シマス
○山田惠一君 南君ノ說ニ贊成致シマス
○馬場鑛一君 我ハ遺憾ナガラ阪谷男爵ノ御修正意見、並ニ南君ノ御修正ノ意見ニ反對ヲ致シマシテ原案ニ贊成スルモノデアリマス、但シ茲ニ二ツノ強イ希望條件ヲ提出致シタイノデアリマス、即チ此希望條件附デ原案ニ贊成スル趣旨デアリマス、其希望條件ハ此一ハ「營業收益稅法實施ノ結果政府當初ノ豫算ニ超過シ多大ノ增收ヲ來タシタル場合ニ於テ其ノ增收カ同稅法所定ノ稅率ノ關係ニ基クモノナルトキハ政府ハ宜シク同稅率ノ低減ヲ圖ラレムコトヲ望ム」其次ノ希望條件ハ「政府ハ營業收益稅法ノ實施ニ當リ同法第二十五條ノ規定ニ付嚴ニ濫用ノ弊ナキヲ期スルト同時ニ努メテ納稅者ト稅務官吏トノ間ニ於ケル紛爭ヲ避ケ稅法ノ圓滿ナル施行ヲ圖ラレムコトヲ望ム」此二項ノ希望條件ヲ附シテ原案ニ贊成スルノデアリマスガ、此場合ニ一々私ハ修正ノ御意見ニ對シテ反駁ヲ加フルコトヲ省キタイト思ヒマス、若シ此案ガ……修正意見ガ本議場ニ現ハルヤウナ場合ニ於キマシテハ、其際ニソレニ對シテ反駁ヲ加ヘ、而シテ原案ヲ支持スルコトニ致シタイト思ヒマス、此席デハ控エテ置キマス

○添田壽一君 實ハ此案ニ對シマシテ時間ガ許シマスルナラバ色々ト研究シテ補足シタイト云フコトハ御尤ナ御考デアリマシテ、私モソレハ贊成ヲ惜マナイモノデアリマス、ケレドモ今ヤ實ニ最早會期ト云フモトニ餘日ガゴザイマセス、而シテ衆議院ヲ通過シテ參リマシタ豫算案、又ハ其豫算ニ直接關係アル法案ニ修正ヲ加ヘルト云フコトノ責任ハ、決シテ私ハ輕クナイト思フノデアリマス、餘程重大ナルモノト云フコトハ申上ゲマスル迄モナイノデアリマス、故

ニ今日ノ場合ニ於キマシテハ、豫算又ハ法案修正ニ互ラザル點ニ於キマシテ馬場君ノ案ニ贊成ヲ致シマス、
○委員長(子爵前田利定君) 添田君ニ伺ヒマスガ、修正ノ意見ハ御尤モダガト云フ御前提デシタガ、チヨット聽取レマセヌデシタガ
○添田壽一君 我ハ修正ハ時ガアレバデスナ、問題ニシ得ルケレドモ、時ノナイ今日ニ於テハ法案若クハ豫算ノ修正ニ互ルコトハ避ケタイカラ、其意味ニ於テ馬場君ノ說ニ贊成致ス、斯ウ申上ゲマシタ
○委員長(子爵前田利定君) 尙ホ伺ヒマスガ、其修正ト云フノハ阪谷男爵ノ修正意見ト、南君ノ修正意見ト出テ居リマスガ、別ニソレヲ指サレテ仰シヤルノデアアルカ、或ハ唯ダ修正ヲスルト云フコトデアレバ修正スル意見モアルガト云フコトデアリマスカ
○添田壽一君 我ハ私ノ修正ノ考デアリマスガ、今日ハ馬場君ノ提案ニ贊成ヲ致シマスト云フコトダケヲ申上ゲマス
○委員長(子爵前田利定君) 分リマシタ
○男爵長基連君 我ハ阪谷男爵ノ修正ニ全部贊成イタシマス
○南弘君 添田君ニチヨット念ノ爲ニ御伺ヒシテ置キタイガ、添田君ノ御意見ニ依レバ自分ニ修正ノ考ヘアル、又各員カラモ修正ノ意見ガ出テ居ル、ソレニ對シテ判斷ヲシ、又適當ノ修正ヲスルニハ時日ガ許サヌカラ、ソレ故ニ自分ハ政府原案ニ贊成スルト云フヤウニ聽取リマシタガ、果シテサウ云フ御意見デアリマシタカ
○添田壽一君 無論各、意見ハ互ニ議シテデスナ、十分ニ審查イタシマシテ、是ナリトスル所ハ已ノ說ニ反スルト雖モソレニ同意スルコトモアリマセウ、色々此案ノ審議ニ付テ皆樣カラ御説ガ出マスト云フコトヲ私

ハ決シテ止メル者デハナイト思ヒマスガ故
ニ、時日ガアリマスレバ其自分ノ説モ言ヒ
皆様ノ説モ伺ヒテ適當ナ修正ヲ加ヘルト云
フコトハ出來得ルコトト思フノデアリマス
ガ、如何センサウ云フコトハモウ今日ノ場
合ガ許サナイト云フ意味デアリマス
○南弘君 更ニハ餘計ノコトデアルカ知
リマセヌカ、念ノ爲ニ添田君ニ御尋ネト云フ
程デモナイカモ知レマセヌカ一應、時日ガ
許サヌカ爲ニ、我々ガ適當ニ修正、其他ヲ
差控エルト云フ御意見デアルトスレバ、豫
算並ニ此稅法ト云フモノハ多ク衆議院
ガ……總テ衆議院ガ先議權ヲ有シテ居リマ
シテ、ソレカラ貴族院ニ廻リテ來ルト云フ關
係ニナッテ、審議スル時ハ何時モ會期ノ終
了ニ際スルノデアリマシテ、時日ノ點ハ何
レノ場合ト雖モ今日ト異ル場合ハナイト思
ヒマスガ、サウ云フ場合ニハ將來……將來
ノコトヲ何スルノハ甚ダ何デアリマスガ、多
ク時日ノ不可能ト云フコトヲ以テ修正スル
コトガ出來ヌトスルナラバ、貴族院ハ殆ド
修正スルコトノ場合ガ無イヤウニ考ヘラレ
マスルガ、サウ云フコトニ付テハ添田君ハ
如何ニ御考ヘニナリマスカ

○添田壽一君 私ハ今迄先例ナドノコトニ
付テ甚ダ不案内デゴザイマスカラ、能ク存
ジマセヌデアリマスガ、免ニ角今日ハモウ
二十日デ、明日ハ日曜日、二十二、二十三、
二十四ト四日程シカナイ、ソレデハ程度
問題デアリマス、ソレデ斯ウ云フ場合ニ唯
今ノ御尋ニ對スル御答ニハ甚ダ苦シマス
ガ、併シ今ノ南君ノ御意見ニハ御同感デア
リマス、斯ノ如キ法案ハ成ルベク貴族院ニ
モ十分ノ餘裕ヲ與ヘテ戴キタイト云フ御趣
意カト思ヒマスカラ、其點ニ於テハ非常ニ
賛成イタシマス、唯一ツ私ハ初メニ申上ダ
タコトニ付加ヘテ置キタイトノハ、斯ノ如キ豫

算ニ直接關係ノアル法案、所謂金錢ニ關係
アル法案ニ付テハ餘程他ノソレデナイ法案
トハ考ヘ異ニシナケレバナラヌ點モアルカ
知ラヌト云フコトヲ一ツ申上ダテ置キマス
○男爵藤村義朗君 私ハ南君ノ第二十五條
削除説ニ賛成ヲ致シマス、若シ不幸ニシテ
本委員會ニ於テ容レラレマセヌデシ場合
ニハ、更ニ阪谷君ノ案ニ付テ考ヘタイト思
ヒマス
○委員長(子爵前田利定君) 南君ノ修正ノ
御意見並ニ阪谷男爵ノ修正ノ御意見、ソレ
ソレ御賛成者ガアリマシタカラ採決ヲ致シ
マス、先ヅ南君ノ御説ガ是ハ削除論デアリ
マスルカラ順序ト致シマシテ削除論カラ採
決イタシマス、南君ノ御意見ニ御賛同ノ諸
君ノ舉手ヲ願ヒマス
〔舉手者 少數〕

○委員長(子爵前田利定君) 少數ト認メマ
ス、依テ否決サレマシタ、次ニ阪谷男爵ノ
修正ノ意見ヲ問題ニ供シマス、同君ノ修正
意見ニ御賛同ノ諸君ノ舉手ヲ……
○南弘君 是ハ各個毎ニ決テ御採リヲ願ヒ
マス
○委員長(子爵前田利定君) 各個毎トハ……
○南弘君 各事項毎ニ……三項確カアルト
思ハレマスカラ其事項毎ニ付テ……
○委員長(子爵前田利定君) 宜シウゴザイ
マス、入念ニ致シマセウ、阪谷男爵ノ御修
正ノ意見ハ三ツカラ成立シテ居リマス、即チ
其第一ハ營業收益稅法第六條ノ二ヲ加ヘル
ト云フ件デアリマス、此修正ニ御賛同ニナ
ル諸君ノ舉手ヲ願ヒマス
〔舉手者 少數〕

○委員長(子爵前田利定君) 少數ト認メマ
ス、依テ否決ニナリマシタ、次ニ第十條中
ノ修正、即チ稅率ノ變更デアリマス、此修
正意見ニ御賛同ノ諸君ノ舉手ヲ願ヒマス
〔舉手者 少數〕

○委員長(子爵前田利定君) 少數ト認メマ
ス、依テ否決ニナリマシタ、次ニ第二十五條ノ
修正デアリマス、此修正意見ニ御賛同ノ諸
君ノ舉手ヲ願ヒマス
〔舉手者 少數〕

○委員長(子爵前田利定君) 少數ト認メマ
ス、依テ否決サレマシタ、依テ本案ヲ賛成
サレル諸君ノ舉手ヲ願ヒマス、是ハ希望條
件付デス、希望條件ハ決議ハ要サヌト云フ
コトニナッテ居リマスガ、希望決議ヲ採ルト
云フコトハドウカト思ヒマスガ、免ニ角馬
場君ノ御意見ハ先程御述ベニナリマシタヤ
ウナ希望ヲ附スルコトニ依テ本案ヲ賛成ナ
サレタイ、斯ウ云フコトデアリマス
○男爵阪谷芳郎君 ソレモ一緒ニ御採リニ
ナルト云フコトデアリマスルトチヨット伺
テ置キタイトデスガ、本員ハ少數意見ガ成
立チマセヌヤウデアリマスカラ、已ムヲ得
ズ演壇デ此修正意見ヲ申述ベル考デス、併
ナガラドレモ成立タヌ場合ニハ馬場君ノ希
望條件ニハ決シテ反對スルモノデアリマ
セヌ、私ノ修正意見ト云フモノト馬場君ノ
希望條件ト云フモノハ同ジコトナンデス、
同ジコトヲ馬場君ガ唯法律ニスルト云フコ
トヲ避ケテ希望條件トシテ居ル、私ノハン
ンナコトデハ矢張り他日間違ヒヲ起スカ
ラ法律ニシテ置イタ方ガ宜イト云フノデア
リマス、其所デ私ノ説ガドウシテモ貴族院
ニ容レラレヌト云フコトガ明ニナレバ希望
條件デモ政府ニ押付ケテ置ク必要ガアリマ
ス
○委員長(子爵前田利定君) 免ニ角別々ニ
致シマセウ、サウ云フ例モナイデモナイト
思ヒマスカラ左様イタシマス、ソレデハ本
案ヲ無修正デ賛同スルト云フ諸君ノ舉手ヲ
願ヒマス

○委員長(子爵前田利定君) 多數ト認メマ
ス、依テ可決サレマシタ、右ニ付キマシテ
馬場君ヨリ先程御述ベニナリマシタ希望條
件ガアルノデアリマス、是ハ本委員會ノ希
望トシテ本議場ニ披露スルコトヲ可トセラ
レルヤ否ヤニ付キマシテ御意見ヲ伺ヒマス、
本議場ニ披露スルヲ可ナリト認メマス諸君
ノ舉手ヲ願ヒマス
〔總員 舉手〕

○委員長(子爵前田利定君) 全會一致ト認
メマス、依テ是ハ議場ニ披露イタシマス、
次ニハ相續稅法中改正法律案ヲ問題ニ供シ
マス、此問題ニ付キマシテハ大分御質疑ガ
ゴザイマシタケレドモ、先般來第一回、第
二回ノ御懇談ノ席上デハ何等御意見ノ御提
出ガナカッタノデアリマス
○男爵阪谷芳郎君 本員ハ遺憾ナガラ賛成
イタシマス
○委員長(子爵前田利定君) 別ニ御意見ゴ
ザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵前田利定君) 本案ヲ可決イ
タシマシテ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵前田利定君) 御異議ナイト
認メマス、依テ可決セラレマシタ、次ニ通
行稅法廢止法律案、之ヲ問題ニ供シマス
○男爵阪谷芳郎君 原案ニ賛成イタシマス
○委員長(子爵前田利定君) 本案ヲ可決イ
タシマシテ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○男爵阪谷芳郎君 三案トモ原案ニ賛成シマス

○委員長(子爵前田利定君) 三案トモ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵前田利定君) 御異議ナイモ

ノト認メマス、依テ三案ハ可決セラレマシタ、醬油稅則廢止法律案、自家用醬油稅法廢止法律案、此二案ヲ問題ニ供シマス

○男爵阪谷芳郎君 二案トモ原案ニ賛成イタシマス

○委員長(子爵前田利定君) 二案トモ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵前田利定君) 御異議ナイモ

ノト認メマス、依テ二案トモ可決セラレマシタ、織物消費稅法中改正法律案、右ヲ問題ニ供シマス

○男爵阪谷芳郎君 原案賛成イタシマス

○委員長(子爵前田利定君) 本案ニ付キマシテモ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵前田利定君) 御異議ナイモ

ノト認メマス、依テ可決セラレマシタ、賣藥稅法廢止法律案ヲ問題ニ供シマス

○男爵阪谷芳郎君 原案ニ賛成イタシマス

○委員長(子爵前田利定君) 本案ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵前田利定君) 御異議ナイモ

ノト認メマス、依テ可決セラレマシタ、骨牌稅法中改正法律案、之ヲ問題ニ供シマス

○男爵阪谷芳郎君 原案ニ賛成イタシマス

○委員長(子爵前田利定君) 本案モ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵前田利定君) 御異議ナイモ

ノト認メマス、依テ原案ハ可決セラレマシタ、清涼飲料稅法案尙ホ大正九年法律第五十一號中改正法律案、之モ牽聯イタシテ居リマスカラ、東ネテ問題ニ供シマス

○男爵阪谷芳郎君 此清涼飲料稅ヲ掛ケルト云フコトハ、是ハ甚ダ宜シクナイコトト思ヒマシテ、是ハ否決ト云フ說ヲ提出イタシマス、其理由ハ元來此度ノ稅制整理

ト云フモノハ細イ面倒ナ稅ヲ廢シヤウト云フノガ目的デアリマス、然ルニ僅カ三百萬圓バカリノ稅ヲ、他日ハ四百萬圓ニナルカ知レマセヌカ、マア三四百萬圓ノ稅ヲ更ニ新ニ課スト云フコトハ、非常ニ微稅上ニ面倒

ナコトデアリマス、又營業者ニ取ツテモ迷惑千萬ナコトデアリマス、ノミナラズ水ニ稅ヲ課スルト云フコトハ、他ノ國デハ戰時中止ムヲ得ズ課シタ場合モアルヤウデアリ

マス、ソレハ大藏大臣ニ質問イタシマシタ所ガ、之ヲ提出シタ理由トシテ、麥酒稅ヲ今度高メルカラ、麥酒ヲ飲ム者ガ清涼飲料ノ方ニ移ツテハイカヌカラト云フ御説明

デアリマス、而シテ若シ麥酒ガ高クナツタ爲ニ水ヲ飲ム者ガ殖エルト云フコトハ誠ニ結構ナコトデアアル、大藏大臣ハ社會政策々々々ト言ハレテ居ルガ、酒ヲ飲ム、即チ

「アルコール」ニ中毒スル者ヲ社會ヨリ減少スルト云フコトハ、非常ナ社會政策デアアルデスカラ、其方カラ言フテモ清涼飲料稅ノ如キモノヲ、斯ウ新ニ課スルト云フコト

ハ甚ダ不當ナコトト思ヒマス、本員ハ否決セラレムコトヲ希望イタシマス

○男爵藤村義朗君 阪谷男爵ノ否決說ニ賛成ヲ致シマス

○馬場鑛一君 清涼飲料稅ハ餘リ此國庫ノ財源トシテ適當ナル財源デアルカドウカト云フコトニ付テハ議論ノアル問題トハ思ヒ

マス、併ナガラ必ズシモ不都合ナシト思フノデ、故ニ私ハ此場合原案ニ賛成シマス、而シテ此案ノ否決意見ガ本議場ニ現ハレバ其際ニソレニ對シテノ辯駁ハ中上デマス

○委員長(子爵前田利定君) 阪谷男爵ノ清涼飲料稅法案否決ノ御意見ニハ賛成者ガアリマシタカラ問題ニ供シマス、右ノ否決論ニ御賛成ノ方ノ舉手ヲ願ヒマス

〔舉手者 少數〕

○委員長(子爵前田利定君) 少數ト認メマス、ソレデハ清涼飲料稅法案ハ可決セラレタルモノト見テ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵前田利定君) ソレデハ御異議ナイモノト認メマス、依ッテ可決セラレマシタ、次ハ大正九年法律第五十一號中改正法律案亦同ジデアリマス、次ハ地方稅ニ

關スル法律案、明治四十一年法律第三十七號中改正法律案ヲ東ネテ問題ニ供シマス

○男爵藤村義朗君 私ハ本案ニ對シテハ賛成ヲ表シタイト存ジマス、ケレドモ、同時ニ左ノ二箇條ノ希望ヲ委員會ノ……本委員會ノ意見トシテ附帶セラレムコトヲ希望イ

タシマス、次ノ通りデアリマス、第一、地方稅制限外ノ賦課ハ往々負擔ノ過重ヲ來スノ虞アルヲ以テ政府ハ右制限外ノ賦課ニ對スル認可ニ付特ニ嚴密ナル注意ヲ加ヘラレム

コトヲ望ム、第二ガ、今回ノ國稅及地方稅整理ノ實施ニ伴ヒ市町村ハ其ノ調査等ニ關シ負擔スヘキ經費少カラサルヘシ政府ハ市町村ノ負擔ノ苦痛ヲ輕減スベク相當ノ措置ヲ講セラレムコトヲ望ム、此二件デアリマス、尤モ字句ノ點ハ然ルベク御修正ヲ願ヒタイト思ヒマス

○山田惠一君 藤村男爵ノ說ニ賛成イタシマス

○委員長(子爵前田利定君) 皆サンニ御諮リ致シマスガ、唯今藤村君カラノ御希望ハ私ハ初耳デアリマスガ、皆サンノ御手許ニハゴザイマセヌカ

〔ゴザイマセヌト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵前田利定君) ソレデハユックリ申上デマス、第一ガ「地方稅制限外ノ賦課ハ往々負擔ノ過重ヲ來スノ虞アルヲ以テ政府ハ右制限外ノ賦課ニ對スル認可ニ付特ニ嚴密ナル注意ヲ加ヘラレムコトヲ望ム」、是ガ第一デアリマス、第二ガ「今回ノ國稅及地方稅整理ノ實施ニ伴ヒ市町村ハ其ノ調査等ニ關シ負擔スヘキ經費少カラサルヘシ政府ハ市町村ノ負擔ノ苦痛ヲ輕減スベク相當ノ措置ヲ講セラレムコトヲ望ム」、斯ウナツテ居リマス

○南弘君 賛成イタシマス

○委員長(子爵前田利定君) 是モ前例ニ依リマシテ、別ニ、二案ニ對シマシテ意見ガゴザイマセヌケレバ採決ニ付シマシテ、其上デ此希望條件ヲ御諮リスルコトニ致シマス、地方稅ニ關スル法律案、明治四十一年法律第三十七號中改正法律案、兩案ニ對シテ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵前田利定君) 御異議ナイモノト認メマス、依ッテ可決セラレマシタ、右ニ付キマシテ、右ノ可決ニ附帶シテ先程讀上デマシタ藤村男爵カラ希望條件ヲ矢張り委員長ヨリ本議場ニ附帶シテ報告スベシト云フ、御意見ガ出テ居リマス、之ニ付キマシテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵前田利定君) 御異議ナイモノト認メマス

○男爵藤村義朗君 私ハ唯今可決サレマシタ希望案程ノ強イ意味デハアリマセヌケレドモ、尙ホ地方財政ノ整理ト云フコトニ付テ、希望ヲ申述ベテ置キタイと思ヒマス、ソレハ先達テノ政府委員ノ御説明ニ依リマシテモ、地方財政ノ整理ハ未ダ以テ満足デアルト云フコトハ言ヘナイ、就キマシテハ政府ニ於カレマシテハ今後ニ於テ、地方財政ノ整理ニ付テハ一層是ガ遂行ニ努メラレムコトヲ希望スル次第デアリマス、尙ホ若シ今後議決サレマス義務教育費ノ國庫負擔額ノ増額ガ本委員會デ可決セラレマシタヤウナ如キ場合ニ於キマシテハ、從テ市町村財政ノ點ニ於キマシテモ、政府ニ於カレテ其監督ニ付テ一層御留意ニナル必要ガアルト存ジマスルノデ、其邊ニ付キマシテモ政府ガ考慮セラレムコトヲ望ムノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ此地方雜種稅ノ中デ、自動車稅ノ重課、自動車ニ非常ニ重イ稅ガカッテ居リマスルガ、御承知ノ如ク自動車ト云フ如キ物ハ今日デハモウ警備品デモ何デモナイノデ、交通機關ノ發達上非常ニ重要ナ一ツノ機關トナッテ居リマスルノデ、之ニ重稅ヲ課シテ、其發達ヲ阻止スルト云フヤウナコトハ宜シクナイと思ヒマス、ソレニ付キマシテモドウゾ政府ニ於カレテ適當ノ御考慮ヲ拂ハレムコトヲ希望スル次第デアリマス、此事ハ前ニ御決議ニナリマシタ二ツノ希望案ホドノ重イ意味ヲ以テ私ハ申スノデアリマセヌケレドモ、願クハ委員長ニ於カレマシテ、此事ニ付テ委員ノ中ニ熱心ナル希望者ガアタクト云フコトモ、御報告ノ際ニ御話下サレマスレバ甚ダ仕合セト存ジマス

○委員長(子爵前田利定君) 了承イタシマシタ、藤村男爵ニ御願ヒ致シマスルガ、自動車稅ノコトハ御手控デモ豫テ頂戴シテ：

間違ナク議場ニ御紹介ガ出來ルト思ヒマスガ、前段ノ分ヲ甚ダ恐縮デスガチヨット御端折書デモ願ヒタイ

○男爵藤村義朗君 承知シマシタ

○添田壽一君 唯今藤村男爵ノ仰セラレタコトハ、私モ滿腔ノ賛意ヲ表シマス

○南弘君 私モ自動車稅ノ一項ヲ除イタフトハ皆賛意ヲ表シマス

○委員長(子爵前田利定君) 如何デゴザイマセウ、委員ノ中デ斯カル希望、熱心ノ御申出ノアタクト云フコトダケニ付キマシテ、是ハ皆様全體ノ責任ニハ致シマセヌ、次ニ市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案：

○男爵阪谷芳郎君 私ハ此法案トモウ一ツノ永小作權法案ト云フモノハ今日議スルノハドウカト云フ考ヘテ居リマスノデ、先ヅ市町村義務教育費國庫負擔法中改正ニ付テ申述ベマスレバ、先日文部大臣ガ見エタ時ニ私ガ質問イタシマシタノハ、政府ガ既ニ二千萬圓ヲ増サレタ時ニ此法律ヲ出シテナイ、然ルニ衆議院ガ妥協シタカラト云テ、衆議院ニ此法律ヲ出シタ以上、此法律ハ有テモ無クテモ宜イモノダカラ、政府ガ是非必要トスルナラバ、矢張り豫算審査期限ノコトナド衆議院ガ出シテ居ルニ拘ラズ政府ハ同ジモノヲ出シタヤウニ、ナゼ出サヌカト云フコトヲ問フタノデアリマス、文部大臣ノ御答ハ甚ダ明瞭ヲ缺イテ居タ、サウスルト本員ノ考ヘデハ政府ガ既ニ二千萬圓ヲ増シタイト云フ豫算ヲ出シタ時ニスラ法律案ヲ出シテ居ラヌ、今度千萬圓ヲ加ヘタイト云テ更ニ法律案ヲ提出スベキ理由ハ乏シヤウニ思ヒマス、衆議院ノ案ハドウモ辯明ヲスル人ガナイカラ、甚ダ審査ニ困リマスルガ、要スルニ少シ疑ガアルヤウデアリマスカラ、此二ツ共後廻シニシテ置

イテ宜イコトデハナイカト本員ハ思フ、此會期切迫ノ際ニ今日急イデ急ニ議スル必要ハナイ、モウ四時モ來テ居リマスカラ他日ニ御廻シニナッテハ如何カト思ヒマス

○委員長(子爵前田利定君) 免ニ角政府ノ解釋ハ限界ガ取レテ居ルカ居ラヌハ別トシテ、一分減ヲ止メテハ出テ來タトコロノ關聯シタ法律案デアリ、又本會議カラモ是マデ包含シテ審査ヲ付託サレタ關係ガアルカラ：免ニ角御延期論ナラバ御延期論ノ御提出ヲ一ツ願フコトニ：

○男爵阪谷芳郎君 本員ハ能ク分リマセヌカラ、誰カ文部大臣デモ總理大臣デモ來テ、熱心ニ説明サレルマデハ延シタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○添田壽一君 唯今如何デゴザイマセウ、總理ナリ文部大臣ナリ臨席ヲ求メテハ：

○馬場鑒一君 私ハ阪谷男爵ノ折角ノ御希望デアリマスルガ、既ニ私共ハ地租一分減ノ修正、ソレニ賛成ヲ致シマシタ、而シテ是ト首尾聯絡ノアル市町村義務教育費國庫負擔法案デアリマス故ニ、之ヲ此場合ニ於テ確定スルト云フノガ適當デアラウカト思ヒマス、過日文部大臣ガ出ラレテ相當ノ説明ガアリマシタカラシテ、其説明ノ可否ヲ論ズル必要ハナイ、我々ハ我々トシテ此付託サレタル法案ヲ、可決スベキヤ否決スベキヤヲ決スルノデ、此場合ニナッテ確定シテ然ルベキト云フ意見ヲ提出イタシマス

○添田壽一君 私モ馬場君ノ說ニ賛成デアリマス

○男爵阪谷芳郎君 多數デ御決シニナルナラバ何トモ申シマセヌ

○委員長(子爵前田利定君) 阪谷サンノ御希望ハ御賛成ガ無イヤウデアリマス、唯今マデハ：依ッテ本案ノ採決ニ移リマス、市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律

案、之ヲ可決スベシトスル諸君ノ舉手ヲ願ヒマス

〔舉手者 多數〕

○委員長(子爵前田利定君) 過半數ト認メマス、依ッテ可決サレマシタ、永小作ノ法律案ニ付キマシテ皆サンニ御諮リ致シマスルガ、是ハ別ニ切離シテ審議シテモ遅クハアルマイト考ヘマスカラ、是ハ他日ニ致シタイト考ヘマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵前田利定君) 當初本會議カラ付託サレタノハ是マデノ所デアリマス、アトハ稅制ニ關スルノトハ別ニ致シマス、尙ホ藤村男爵ニ申上ゲマスガ、豫テ是非公式ノ話デゴザイマスガ、地租免稅點ノコトニ付テ何カ御希望ガアタタヤウデアリマス、地租免稅點設定ニ付テノ：是ハ御廢メニナリマスカ

○男爵藤村義朗君 詰リ是先キノ第一ノ希望ニソレガ包含シマス

○委員長(子爵前田利定君) 尙ホ伺ヒマスガ、先程アトカラ御述べニナリマシタ希望ガ、自動車稅ト向ホ一件御述べニナリマシタノハ、豫テ頂イテ居リマシタ希望ノ第二、「政府ノ原案タル地租一分減ニ代フルニ義務教育費國庫負擔額ノ増額ヲ以テシタルハ市町村財政ノ放漫ヲ馴致スルノ虞アルニ顧ミ政府ハ特ニ市町村財政ノ監督ニ關シテ留意セラレム事ヲ望ム」是デ宜シウゴザイマスカ

○男爵藤村義朗君 ソレト其次ノ何モ關聯サシテ頂キタイ、地方財政ノ整理：

○委員長(子爵前田利定君) サウスルトドウ云フ風ニ直シテ宜シウゴザイマスガ、書イテ頂ケバ尙ホ宜シイ

○男爵藤村義朗君 書イテ上ゲマセウ

○委員長(子爵前田利定君) ソレデハ今日

ハ是デ散會イタシマス

午後四時十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵前田 利定君

副委員長 男爵阪谷 芳郎君

委員

子爵青木 信光君

子爵梶松 友光君

石原 健三君

男爵藤村 義朗君

男爵長 基連君

仁尾 惟茂君

添田 壽一君

南 弘君

井上準之助君

志村源太郎君

馬場 鏑一君

西野 元君

藤山 雷太君

末延 道成君

山田 恵一君

左右田喜一郎君

國務大臣

內閣總理大臣 若槻禮次郎君
兼內務大臣

政府委員

內務書記官 田中廣太郎君

大藏政務次官 武内 作平君

大藏省主稅局長 黒田 英雄君

大藏書記官 藤井 眞信君